

令和3年（2021年）6月30日

「球磨川流域圏バーチャルキャンパス」受講生募集！

熊本県立大学では、令和2年7月豪雨による災害からの創造的復興をめざし、球磨川流域圏の文化、歴史、環境をテーマにした「球磨川流域圏バーチャルキャンパス」の開講（令和4年度実施）に向けて準備を進めています。

その一環として、本年9月1日から10月31日までオンライン公開講座（無料）を開講します。ついては、本講座の受講生を7月1日から本学ホームページで募集しますのでお知らせします。

講座の内容、募集期間、受講要件など詳しい内容については、別添チラシ（7月1日からホームページ掲載）をご覧ください。

問合せ先

熊本県立大学 地域連携政策センター
熊本市東区月出3丁目1番100号
担当：犬塚 渡邊
TEL：096-321-6612



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

令和3年度（2021年度）
オンライン特別講座

球磨川流域圏



バーチャルキャンパス

受講生募集

申込期限

令和3年8月1日（日）

受講期間

令和3年9月1日（水）～10月31日（土）

定員

先着 200名

受講料

無料

～球磨川流域圏バーチャルキャンパスとは～

令和2年7月豪雨による災害からの創造的復興をめざし、球磨川流域圏の文化、歴史、環境をテーマにした無料公開講座を開催いたします。

球磨川流域圏の地域としての魅力を発信し、多くの方に本地域に対する理解を深めていただき、復興活動を支援することを目的としています。

写真提供：八代市

2021年9月1日（水）配信予定

私が考える流域治水とは ～流域治水って何？～

熊本県立大学 緑の流域治水研究室 特別教授
島谷 幸宏 氏

国が提案している流域治水と熊本県が提唱している緑の流域治水の違い。熊本県立大学でこれから進める予定の緑の流域治水の取組みを紹介します。「緑の流域治水」の取組みへの参加を呼びかけます。



略歴

1980年九州大学大学院工学研究科修士課程修了
1980年旧建設省（現国土交通省）入省
1982年建設省土木研究所（現独立行政法人土木研究所）研究員
1993年国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所 所長
2003年九州大学大学院工学研究院環境都市部門 教授
2021年熊本県立大学 緑の流域治水研究室 特別教授

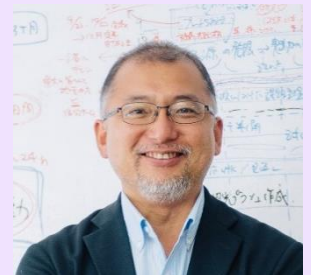
日本湿地学会前会長・顧問、応用生態工学会元副会長、風景デザイン研究会会長、NPO法人水圏環境研究所理事

2021年9月8日（水）配信予定

災害と復興まちづくり

熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学専攻 教授
柴田 祐 氏

地域の復興は、被災した一軒一軒の住宅の再建と暮らしの回復の積み重ねでしか実現できません。また、人口減少と高齢化が進む地域の将来について住民同士で話し合うことも必要です。個々の課題と地域の課題をつなげ、ピンチをチャンスにして復興まちづくりをどう進めるのか、熊本地震の被災地の事例を紹介しながら考えます。



略歴

大阪大学大学院工学研究科 修了 博士（工学）
2006年4月 大阪大学大学院工学研究科 助手
2013年4月 熊本県立大学 准教授
2017年4月 現職

専門は地域計画、農村計画、景観計画。
熊本地震や令和2年7月豪雨による集落の被災状況や復興プロセスの調査研究のほか、まちづくり協議会など住民組織の運営サポートなどの実践活動を行っている。

2021年9月15日（水）配信予定

球磨川流域圏の歴史と文化

八洲開発株式会社 取締役

木崎 康弘 氏

球磨川流域圏の人類史は、東アジアの原人から進化した旧人たちの時代に遡ります。10数万年前の日本最古の時代です。ではなぜ逸早く活動の場の一つに選ばれたのでしょうか。そう問えば、ある環境特性が想起されます。様々な環境特性を基調に成り立ってきた球磨川流域圏の歴史と文化です。それを跡付け、その魅力に迫ります。



略歴

1980年 明治大学卒
2000年 明治大学 論文 博士
(史学)
1982年 熊本県教育庁技師
2011年4月 熊本県立装飾古墳館 館長
2017年4月 八洲開発株式会社 木崎文化財研究室長 取締役

2009年 第18回岩宿文化賞
2018年 第39回熊日出版文化賞
九州旧石器文化研究会長、
熊本地名研究会長。
日本考古学協会、日本旧石器学会等。

2021年9月22日（水）配信予定

球磨川の暮らしに育まれた 八代市坂本町の歴史的建造物

熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科 教授

森山 学 氏

令和2年7月豪雨の被害にあった球磨川沿いの八代市坂本町。ここに残る神社、役場、旅館といった歴史的建造物や民家を取り上げ、その豊かな特徴についてお話しします。それらの織りなす風景が、変遷する地域の暮らしや球磨川との関わりから結実していることが見えてきます。またそれらの復旧、復興の状況もお伝えします。



略歴

2002年 東京大学大学院工学系研究科 博士(工学)
1999年 八代工業高等専門学校 土木建築工学科 助手
2017年 熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科 教授

八代市文化財保護委員、八代市協働のまちづくり推進計画策定委員会委員長、八代市景観計画策定委員会副委員長など歴任。
まちづくり、設計・デザインも手掛ける。

受講方法 Microsoft Teamsを利用したオンデマンド配信を、受講希望者ご自身が端末（PCやタブレット等）を操作し、受講いただきます。

* 端末の貸し出しはございません。

受講要件

- ・ 高校生以上であること。
- ・ 個人のメールアドレスを有し、メールの送受信を日本語でできること。
- ・ 受講規約（HP上に公開）に同意すること。

申込方法 熊本県立大学HPの募集ページに掲載する応募フォームからお申込ください。

熊本県立大学HP >
ご案内・参加者募集 >
CPDプログラム・各種公開講座



申込締切 令和3年（2021年）8月1日（日）

受講決定通知 令和3年（2021年）8月20日（金）までに発送

- * 受講決定通知書およびユーザーIDは登録いただいた住所に郵送
- * パスワード、使い方マニュアルは登録メールアドレスへ送信

問合せ先 熊本県立大学 地域連携政策センター
電話 096-321-6612
E-mail renkei-c@pu-kumamoto.ac.jp
担当 渡邊 木村

